

地方経済情報 Weekly No.457

香港で球磨焼酎の試飲イベントを開催しました！

1. 球磨焼酎の香港販路拡大事業

当研究所は肥後銀行と共同で、球磨焼酎の海外でのブランド力向上と販路開拓を目的としたプロジェクトに取り組んでいます。その一環として香港にて、蔵元を中心とした7事業者（六調子酒造、鳥飼酒造、緋月酒造、深野酒造、高橋酒造、大和一酒造元、鳥越商店）の商品を、現地のバイヤーと消費者に向けて直接PRしました。運営にはくまもとDMCと熊本香港事務所が加わり、「割烹櫓杏（ろあん）」にて現地バイヤーに向けた試飲商談会と一般客に向けたカクテルイベントを開催しました（写真1）。

2. 香港の消費者ニーズに合わせたプロモーション

アルコール離れが進み低アルコール商品が好まれる香港では、焼酎の認知度はまだ低く、主に日本料理店や日本食材店で扱われるに留まります。市場拡大に向けて、参加した事業者たちは低アルコールの焼酎やリキュールを交えて商談に挑みました。

カクテルイベントでは、「ASIA'S 50 BEST BARS」に2年連続ランクインしている熊本市の大人気バー「夜香木」を営み、日本を代表するバーテンダーである木場進哉さんが登場し、球磨焼酎を使ったオリジナルカクテルを披露しました（写真2）。

3. 球磨焼酎の海外販路拡大に向けて

本プロジェクトでは今年度、香港、台湾、フランス、スイスをターゲットとし、現地でのイベントに加えて人吉球磨にバイヤーを招へいしての産地視察を行っています。当研究所は今後も球磨焼酎の海外販路開拓を支援し、人吉球磨地域の活性化につなげていきます。

当研究所の球磨焼酎支援の取組みはこちら <https://www.reri.or.jp/shochu/>



(写真1) 熊本県産品を扱う「割烹櫓杏」を貸し切り、バイヤーを集めて商談会を行いました。
(右：大和一酒造元・下田社長、2024年10月23日)



(当研究所撮影)

担当：研究員 古田 千智